令和元年度版

進学・就職に関する支援制度を紹介します。

宮崎県

桜さく

成長応援ガイド



日本のひなた宮崎県


うーむ…
職員室
黒木は
今日も休みか…
KUROKI
出席名簿
2年B組
今田
何かあったのかも
しれん
家に行ってみよう
翌日
ピンポーン
久しぶりだな
最近学校に
来ていないが…
どうかしたのか
先生…
実は…
今…お金の工面に
困ってまして…
娘も学校を
辞めると言って
きかないんです
先生！
私
学校辞めて
働きます！
うち母子家庭だし
お母さんに
ばっかり
苦労かけらんない
もん！
だから
お金はなんとかなるって
言ってるでしょ
なってないから
今困ってるんじゃん！
まあまあ
落ち着いて
ビクッ
ご家庭の事情に
対応できるよう
色んな支援制度が
あるんですよ
△△△制度
XXXX制度
□□□□制度
○○○○制度
▽▽▽制度
☆☆☆制度
◇◇◇◇制度
●●●制度
使えるものが
あるかもしれませんよ
制度があるのは
知ってたんですが
どれがいいのか
イマイチ
分からなくて
では早速
制度について
色々
見てみましょう！
Go!!

Contents

進学のための支援（高校生編） 6
進学のための支援（中学生編） 15
先輩達の事例 22
就職のための支援制度 26
その他の様々な支援制度 30
宮崎県内の高校・大学等一覧 38



ひなた高校 進路指導担当
今田ススム

迷える生徒に全力でぶつかる熱血先生。一緒にいると体感温度が2℃ぐらい上がる。

支援制度一覧

12歳 中学校　15歳 高等学校等

進学・就職における様々な支援制度

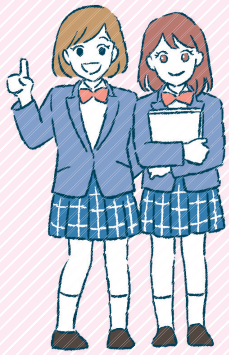
進学のための支援

日本学生支援機構貸与奨学金（高等

宮崎県育英資金（高等学校

生活福祉資金

母子父子寡婦福祉資金



まずは情報収集!!

高等学校等就学支援金（授業料に対する支援）

高等学校等奨学給付金（授業料以外の教育費に対する支

私立高等学校授業料減免

生活保護

教育扶助

生業扶助（高等学校等就学費）

進学

交通遺児に対する支援事業 P20

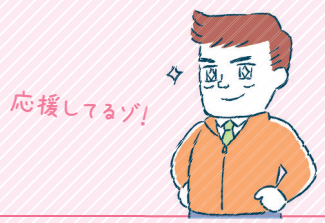
交通遺児育英会奨学金

小・中学生向けの就学援助 P21

私立中学校等修学支援実証事業費補助金 P21

特別支援教育就学奨励費

就職のための支援



応援してるゾ!

林業後継者育英資金

その他の支援等

児童扶養手当

生活困窮者

就職等相談窓口

教育相談ダイヤル（ふれあいコール、SOS ダイヤル）

18歳

大学等・就職

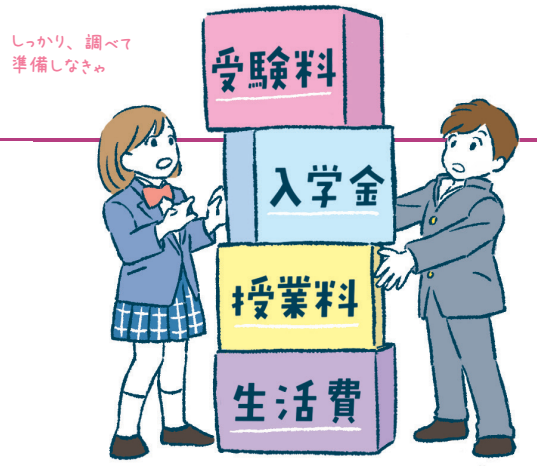
- 日本学生支援機構給付型奨学金 P8
- 高等教育の授業料等減免制度 P9
- 専門学校／大学、短期大学、専修学校、大学院）※高専と大学等はそれぞれ申請が必要になります。 P10・15
- 公益財団法人 宮崎県奨学会奨学資金 P10
- ／大学、短期大学、専修学校）※高校と大学等はそれぞれ申請が必要になります。 P11・16
- 教育支援費・就学支度費 P12・19
- 修学資金・就学支度資金 P11・19
- 宮崎県看護師等修学資金 P13
- 保育士修学資金 P13
- 県立農業大学校授業料全額免除制度 P13
- 介護福祉士修学資金等貸付制度
  - 介護福祉士修学資金・社会福祉士修学資金 P14
- 交通遺児育英会奨学金 P14・20
- P16
- 支援） P17
- P17
- P18
- 準備給付金 P12
- P20
- P21



- 生活保護
  - 生業扶助（就職支度費） P26
- 母子父子寡婦福祉資金
  - 就職支度資金（就職にかかる経費） P26
- 介護福祉士修学資金等貸付制度
  - 離職介護人材再就職準備金・介護福祉士実務者研修受講資金 P26・27
- 保育士就職準備金貸付 P27
- P27
- 次世代人材投資（準備型）資金 P28
- 農業次世代人材投資資金（準備型） P28
- ひなた創生のための奨学金返還支援事業 P29
- P30
- 自立支援制度 P30
- 児童養護施設退所者等自立支援資金 P31
- （ヤング JOB サポートみやざき・みやざき若者サポートステーション） P31
- 県立産業技術専門校での職業訓練 P32
- P32
- 子ども食堂 P33

大学・専門学校への進学にかかる費用

大学や専門学校へ進学し、それぞれの目標へ向かって大きく羽ばたいていく高校生。それぞれの道を支援するための支援制度を紹介する前に、進学にかかる費用をまとめました。



進学費用①

受験料

入学試験を受けるのに必要なお金が受験料です。遠方の大学を受ける場合には、交通費や宿泊代など、受験料以外の出費も考慮しておきましょう。

受験料

国公立大学　17,000円
私立大学　約28,667円

大学入試センター試験検定料

18,000円

大学入試にかかる費用シミュレーション

地元の国立大学と首都圏の私立大学2校を受験する場合

センター試験検定料	18,000円
受験料［国立大］	17,000円
受験料［私立大］	28,000円×2校
交通費［往復］	30,000円×2回
宿泊料	8,000円×2回
合計	167,000円

進学費用②

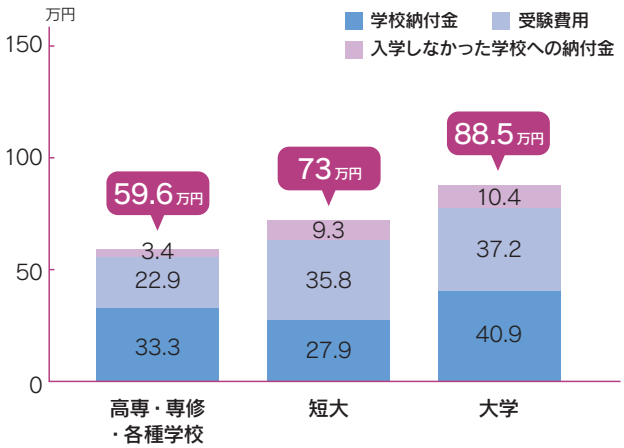
入学金

試験に合格したら次に必要なのが入学金。同時に初年度授業料の一部や施設設備費、住居探しなどの費用も必要です。

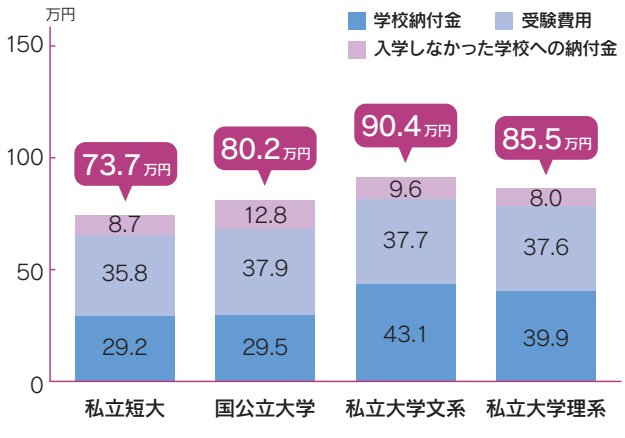
入学金

国公立　約269,500円　　私立　約258,333円

入学先別にみた入学費用（子ども１人当たりの費用）



国公立・私立別にみた入学費用（子ども１人当たりの費用）

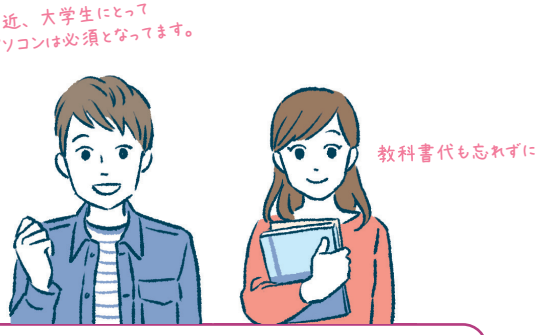


出典：日本政策金融公庫「教育費負担の実態調査結果」（平成30年度）

進学費用③

授業料

授業料は国公立か私立か、文系か理系かの学部によって異なります。



授業料

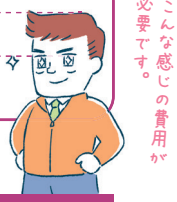
国公立　535,800円／年

私立　約1,268,722円／年［施設設備費等を含む］

※大学の費用はすべて宮崎県内の平均額です。

知ってて損なし!!

初年度納付金	入学する大学に納付する入学金、授業料など
教科書・教材購入費	パソコン、教科書など
住居に関連する費用	住まいを探しにいくための交通費や宿泊費、敷金・礼金・斡旋手数料、前払い分の家賃など
生活用品購入費	家具、家電、寝具、日用雑貨、衣類など
その他	引越し費用、4月分の生活費など



生活費もお忘れなく!!

大学や専門学校に進学したら、授業料以外で必要なのが住居費や食費などの生活費が必要です。

大学生・短大生の地域別生活費（1ヵ月あたり）［学費を除く］※平均値

東京圏（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）

自宅	学寮	下宿・アパート
43,042円	90,192円	112,592円

京阪神圏（京都府・大阪府・兵庫県）

自宅	学寮	下宿・アパート
34,538円	53,904円	89,567円

その他の地域

自宅	学寮	下宿・アパート
23,700円	63,979円	72,754円

［平成28年度 独立行政法人 日本学生支援機構 学生生活調査結果より独自に算出］

一ヶ月の生活費内訳 ※全国の平均値

自宅		学寮		下宿・アパート	
食費	11,431円	食費	15,979円	食費	20,217円
住居・光熱費	-	住居・光熱費	21,631円	住居・光熱費	36,348円
保健衛生費	3,215円	保健衛生費	2,560円	保健衛生費	2,871円
娯楽・し好費	10,792円	娯楽・し好費	8,433円	娯楽・し好費	11,329円
その他の日常費	17,206円	その他の日常費	10,463円	その他の日常費	14,581円
小計（生活費）	42,644円	小計（生活費）	59,066円	小計（生活費）	85,346円

［平成28年度 独立行政法人 日本学生支援機構 学生生活調査結果より独自に算出］

大学・短大・専修（専門）学校 進学を希望する人のための支援制度



奨学金や福祉資金、進学を応援するための様々な支援を紹介します。

国の新しい修学支援制度がスタート!!

「給付型奨学金」の対象が広がり、授業料・入学金もサポートしてもらえるようになります。

家庭の経済事情に左右されずに、意欲のある子供たちが、社会で活躍する人材を育成できる大学等へ進学し、学ぶことができるようにします。

新しい支援対象の学校は？

大学、短期大学、高等専門学校（4年・5年）、専門学校で国等の確認を受けた学校

どんな人が対象になるの？

世帯収入の要件を満たしていること（住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯）

学ぶ意欲のある学生であること（高校が成績だけで判断せず、レポートなどで学ぶ意欲を評価）



支援額はどれくらい？

［住民税非課税世帯の学生で私立大学に自宅外から通う場合］

給付型奨学金

約910,000円／年

支援額

入学金　上限260,000円／年

授業料　上限700,000円／年

［住民税非課税世帯に準ずる世帯の場合］

住民税非課税世帯の学生の2/3又は1/3の金額が支援されます

※家族構成や世帯収入で支援額は異なります

申請方法とスケジュール

- 5月・6月頃：給付型奨学金の対象か 日本学生支援機構（JASSO）のサイトで 家族と一緒に調べよう
- 「対象かも」と思ったら、学校から申請書類をもらう（マイナンバーの提出が必要）
- 7月頃：JASSOの奨学金申込サイト「スカラネット」で申し込む
- 夏以降：進学予定校が対象として認定されたか確認
- 12月頃：審査結果の通てがJASSOから学校に届く（予約採用の候補者決定通知）
- 4月：対象となる学校に入学 「スカラネット」で進学届を提出 授業料等の減免は、進学先で手続き

返還義務のない“給付型”の奨学金

NEW

給付 日本学生支援機構給付型奨学金

特に優れた学生・生徒で、経済的理由により極めて修学に困難がある者に対して、大学、短期大学、高等専門学校、専門学校（以下、大学等）への進学を後押しすることが目的です。

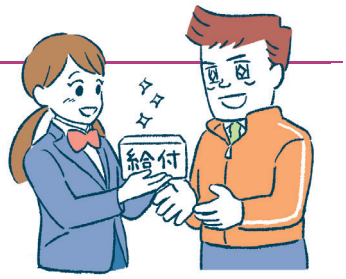
※対象となる大学等には要件があります。対象大学等は国等のホームページにて公表されています。

応募資格

大学等に進学を予定している人で、住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生等。

※学力・家計基準があります。詳しくは日本学生支援機構のホームページをご確認ください。

給付月額



（円）

区　分		自　宅	自宅外
国公立	大学・短大・専門学校	29,200	66,700
	高等専門学校	17,500	34,200
私　立	大学・短大・専門学校	38,300	75,800
	高等専門学校	26,700	43,300

※表内の額は住民税非課税世帯の場合の額であり、住民税非課税世帯に準ずる世帯の場合は2/3または1/3の額を支給します。

■**申込窓口**／在学する学校
■**申込期間**／在学する学校へお問い合わせください。

※2020年度に進学を予定している高等学校の生徒等は、進学後に募集がありますので、大学等に問い合わせてください。
（進学前の募集は終了しています）。
※現在大学等に在学している学生等を対象とした在学採用については、2019年11月に募集する予定です。

◎問合せ先：日本学生支援機構（JASSO）　https://www.jasso.go.jp/index.html
日本学生支援機構奨学金相談センター　TEL 0570-666-301

経済的な理由で大学等への進学が困難な学生を支援

NEW

給付　高等教育の授業料等減免制度

大学等に進学する住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生に対し、授業料等の支援を行います。

※日本学生支援機構給付型奨学金と同様の学力・家計基準があります。また、対象となる大学等には要件があります。対象大学等は国等により公表されています。

減免限度額

（円）

区　分	国公立		私立	
	入学金	授業料	入学金	授業料
大学	280,000	540,000	260,000	700,000
短期大学	170,000	390,000	250,000	620,000
高等専門学校	80,000	230,000	130,000	700,000
専門学校	70,000	170,000	160,000	590,000

※学校の授業料等を上限として支援します。表内の額は住民税非課税世帯を基準とした額であり、住民税非課税世帯に準ずる世帯の場合は2/3または1/3の額を減免します。

■**申込窓口**／在学する大学等
■**申請期間**／4月頃

◎問合せ先：文部科学省お問合わせ窓口　http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm
または、県みやざき文化振興課
http://www.pref.miyazaki.lg.jp/miyazaki-bunkashinko/kurashi/kyoiku/20190821115530.html

文部科学省

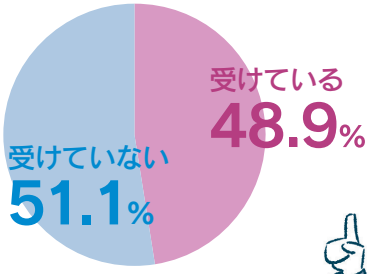
県みやざき
文化振興課

知ってて損なし!!

約５割の学生が利用！
種類豊富な奨学金制度の基礎知識

- 返還不要の「給付型」と返還が必要な「貸与型」がある
- 公的な奨学金（国、都道府県、市区町村）と、民間の奨学金（企業、民間育英団体）、大学独自の奨学金がある
- 申込資格は団体や制度によってさまざま

奨学金受給者の割合





利用者が最も多い奨学金

貸与 日本学生支援機構貸与奨学金

［第一種、第二種、入学時特別増額奨学金の併用可。入学時特別増額奨学金だけの貸与不可］
※宮崎県育英資金との併用不可

国内の大学・短期大学・専修学校（専門課程）・大学院で学ぶ人のための奨学金です。

貸与限度額・月額

第一種（無利子）

（円）

区　分		自　宅	自宅外
大学	国公立	45,000	51,000
	私　立	54,000	64,000
短大・専修（専門）	国公立	45,000	51,000
	私　立	53,000	60,000

第二種（有利子）

（円）

区　分		
大学	国公立	20,000円から120,000円の1万円単位からいずれかを選択
	私　立	
短大・専修（専門）	国公立	
	私　立	

※第一種奨学金の上表以外の月額については、日本学生支援機構のホームページをご確認ください
※2020 年度より始まる新しい給付型奨学金を併せて利用する場合、貸与月額が制限されます。

入学時特別増額貸与

初回振込時に10万円、20万円、30万円、40万円、50万円からいずれかを増額します

■**申込窓口**／在学する学校等　■**返還期間**／貸与総額により決定（最大20年）
■**申請期間**／予約：高校3年生時　在学：毎年春　緊急：随時
◎**問合せ先：日本学生支援機構**　https://www.jasso.go.jp/index.html
日本学生支援機構奨学金相談センター　☎0570-666-301

県内に住む、将来有能な人材を応援

貸与［無利子］ 公益財団法人 宮崎県奨学会奨学資金

［他の奨学金との併用不可。ただし、給付型の奨学金とは併用可］

将来の有能な人材を育成するため、向学心に富み、優れた素質がありながらも経済的理由により修学が困難な学生又は生徒に対して、奨学金を貸与します。

応募資格

①宮崎県に本籍を有する人、または本人の主たる生計維持者が宮崎県内に居住している人
②その年度の4月に大学に入学した人（在学中であっても認められる場合あり）

貸与月額

（円）

区　分		貸付額
大　学	国公立 私　立	25,000

■**申込窓口**／在学する大学　■**返還期間**／貸与を受けた期間の3倍以内
■**申請期間**／4月～5月頃（各大学に申請書を配付）
◎**公益財団法人 宮崎県奨学会**　☎0985-26-7235（県教育庁財務福利課内）

ひとり親家庭の修学費、就学支度費を支援

貸与［無利子］母子父子寡婦福祉資金

修学資金・就学支度資金

［修学資金については、宮崎県育英資金との併用原則不可］

ひとり親家庭で、現在子を扶養している母親か父親、またはその子を支援。



貸与限度額

修学資金（月額）　（円）

区　分		自　宅	自宅外
大　学	国公立	67,500	76,500
	私　立	81,000	96,000
短大・専修（専門）	国公立	67,500	76,500
	私　立	79,500	90,000

就学支度資金　（円）

区　分		自　宅	自宅外
大　学	国公立	370,000	380,000
	私　立	580,000	590,000
短大・専修（専門）	国公立	370,000	380,000
	私　立	580,000	590,000

修学資金：専修学校（専門課程）、短期大学または大学等で修学するのに必要な経費
就学支度資金：専修学校（専門課程）、短期大学または大学の入学に際し必要な経費

■**申込窓口**／市にお住まいの方／各市役所の子ども福祉担当課
町村にお住まいの方／県福祉こどもセンター、児湯福祉事務所、西臼杵支庁福祉課
■**返還期間**／原則として修学期間の4倍以内　■**申請期間**／修学資金は随時。就学支度金は入学式前まで

◎問合せ先：県こども家庭課　☎0985-26-7041
http://www.pref.miyazaki.lg.jp/kodomo-katei/kenko/kodomo/shikin.html
宮崎市にお住まいの方／宮崎市子育て支援課　☎0985-21-1765
E-mail:10jidou02@city.miyazaki.miyazaki.jp

保護者等が宮崎県に住む学生の奨学金

貸与［無利子］宮崎県育英資金

大学・短大・専修（専門）学校奨学金

［日本学生支援機構貸与奨学金、母子父子寡婦福祉資金（修学資金）との併用原則不可］

保護者等が宮崎県内に居住している人で、国内の大学・短期大学・専修（専門）学校で学ぶ人のための奨学金です。

貸与月額

大学　（円）

学校種別・通学の方法		区分①	区分②	区分③
国公立	自　宅	44,000	33,000	22,000
	自宅外	50,000	38,000	25,000
私　立	自　宅	53,000	40,000	27,000
	自宅外	63,000	48,000	32,000

短大・専修（専門）　（円）

学校種別・通学の方法		区分①	区分②	区分③
国公立	自　宅	44,000	33,000	22,000
	自宅外	50,000	38,000	25,000
私　立	自　宅	52,000	39,000	26,000
	自宅外	59,000	45,000	30,000

※3つの金額から選択可能です。

■**申込窓口**／在学する学校　■**返還期間**／貸与を受けた期間の4倍以内（最大20年）
■**申請期間**／在学採用：入学時または在学中の3月下旬～4月下旬
※年度途中で家計が急変した学生に対する緊急採用制度があります。

◎問合せ先：在学する学校または県教育庁財務福利課育英資金室　☎0985-32-4472
http://www.pref.miyazaki.lg.jp/ikueishikin/kurashi/kyoiku/index-02.html

低所得世帯の就学者を支援

貸与［無利子］ 生活福祉資金（教育支援費・就学支度費）

低所得者世帯（市町村民税非課税程度）に属する就学者の教育費、就学支度費を支援します。

※生活福祉資金は日本学生支援機構奨学金など他の制度の利用が優先されます。そのため、専門学校、短期大学、大学へ進学予定の方は日本学生支援機構奨学金などを生活福祉資金の申請時に申し込んでおく必要があります。それでも不足する場合、審査の上、費用の貸付を行います。

貸与限度額

（円）

区分		貸付額
教育支援費	高校	月35,000以内
	高専	月60,000以内
	大学	月65,000以内
	短大・専修(専門)	月60,000以内
就学支度費		500,000以内

教育支援費
高等学校、または高等専門学校、大学、短期大学、専修（専門）学校に**就学するのに必要**な経費

就学支度費
高等学校、または高等専門学校、大学、短期大学、専修（専門）学校**入学に際し必要**な経費

■**申込窓口**／お住まいの各市町村社会福祉協議会
■**返還期間**／貸与金額により**4年～20年以内**（卒業後6月以内は据置期間）
■**申請期間**／**随時**　※就学支度費は原則として入学前（3月末）まで
■**連帯債務者等**／①就学者世帯の「生計中心者」に連帯債務者になっていただきます。
②世帯の収入、負債等の状況によって必要とされる場合には、連帯保証人（別生計、別世帯）に債務に加わっていただきます。

◎問合せ先：お住まいの各市町村社会福祉協議会

大学進学時に一時金を給付

給付 生活保護

進学準備給付金

大学進学の際の新生活を始めるための費用として一時金を給付します。



給付額

自宅通学 100,000円　　**自宅外通学** 300,000円

■**申込窓口**／市にお住まいの方：市福祉事務所、町村にお住まいの方：県福祉事務所または町村役場の福祉担当課
◎問合せ先：市にお住まいの方／市福祉事務所　　町村にお住まいの方／県福祉事務所または町村役場の福祉担当課

看護師等を目指して県内の養成施設で学ぶ人へ

貸与［無利子］宮崎県看護師等修学資金

看護師、保健師又は助産師を目指し、県内の看護師等の養成施設で学ぶ人に修学資金を貸与します。

※養成施設／看護師、保健師、助産師養成施設

貸付額

県立看護大学　32,000円/月　　**民間の看護師養成所**　36,000円/月

※制度が変更になる場合があります。詳細は、県医療薬務課までお問合せください。
※助産師養成施設の学生は、8,000円／月加算できます。

■**申込窓口**／在学する養成施設　※申請には、養成施設の推薦が必要です。

■**返還期間**／貸付を受けた期間と同一期間
※養成施設卒業後1年以内に免許を取得・卒業後宮崎県内の特定施設等（病床数200床未満の病院、診療所、訪問看護ステーション等）に直ちに就業し、引き続き5年間従事した場合には、貸付金が返還免除になります。

■**申請期間**／新規：入学後　継続：前年度2月末
※継続は、引き続き貸付を受ける方。毎年度申請が必要です。

◎問合せ先：県医療薬務課　☎0985-26-7450
https://www.pref.miyazaki.lg.jp/iryoyakumu/kenko/iryo/20160112171305.html

将来、県内で保育士として働く人を支援

貸与［無利子］保育士修学資金

保育士の養成施設で学ぶ人で、卒業後、県内の保育所等で働く意思のある人に修学資金等を貸与。

貸付額

修学資金（月額）　50,000円以内　　**入学・就職準備金**　各200,000円以内

■**申込窓口**／在学する養成施設　※申請には、養成施設の推薦が必要です。

■**返還期間**／貸付を受けた期間の2.5倍に相当する期間
※原則、養成施設を卒業した日から1年以内に保育士の登録を行い、県内において児童の保護等に5年間従事した場合には、貸付金が全額返還免除になります。

■**申請期間**／4月中旬～5月中旬

◎問合せ先：宮崎県社会福祉協議会福祉人材貸付相談室　☎0985-61-2424　https://www.mkensha.or.jp/loan/h_syugaku.html

農業大学校で学びたいが経済的理由で進学が困難な人へ

県立農業大学校授業料全額免除制度

経済的理由などにより、授業料の納付が困難である人の授業料を全額免除します。

■**申込窓口**／県立農業大学校　■**申請期間**／4月中

◎問合せ先：県立農業大学校　☎0983-23-0120
http://www.majc.pref.miyazaki.lg.jp

将来、介護福祉士や社会福祉士として県内で働こうとする人を支援

貸与［無利子］ 介護福祉士修学資金等貸付制度

介護福祉士修学資金、社会福祉士修学資金

介護福祉士または社会福祉士を目指して、専門学校等の養成施設で学ぶ人で、卒業後、県内で介護または相談援助業務に従事する意思のある人に修学資金等を貸与します。

貸付額

修学資金（月額） 50,000円以内
生活費加算（月額） 30,000円以内
※生活保護受給世帯の世帯員に限ります。

入学・就職準備金 各200,000円以内
国家試験受験対策費用（年額） 40,000円以内
※介護福祉士修学資金に限ります。

■**申込窓口**／在学する養成施設等 ※申請には、養成施設等の推薦が必要です。
■**返還期間**／貸付を受けた期間の2.5倍に相当する期間
※原則、養成施設を卒業した日から1年以内に、介護福祉士または社会福祉士の登録を行い、県内において介護または相談援助業務に5年間従事した場合には貸付金が全額返還免除になります。
■**申請期間**／養成施設入学前：高校3年生の7月～12月、養成施設入学後：4月

◎問合せ先：宮崎県社会福祉協議会 福祉人材貸付相談室　☎0985-61-2424　http://www.mkensha.or.jp/loan/k_syugaku.html

交通遺児の進学・教育費を貸与

貸与［無利子］ 交通遺児育英会奨学金

大学・短大奨学金

［進学準備金の貸与を受けた方は、進学後の入学一時金は貸与されない］

保護者（主に父親か母親）が道路上の交通事故※で亡くなられたか、または後遺障害者になったため働けず、経済的に困っている高等学校以上の生徒・学生のための奨学金です。

※道路上での車両等の交通による人の死傷がおきた事故です。人対車両、車両相互、車両単独のほか、踏み切りでの事故、路面を走っている電車との事故、単車や自転車に乗っているときの事故が該当します。鉄道事故や飛行機事故・海難事故は対象にはなりません。

貸与・給付額

奨学金（月額）	4万円、5万円または6万円から選択
入学一時金	40万円、60万円または80万円から選択
進学準備金	40万円、60万円または80万円から選択

申請期間

［**第1次**］平成27年9月11日
［**第2次**］平成28年1月29日
［**在学募集**］平成27年11月10日
※参考：H27年度

■**申込窓口**／在学する学校等　■**返還期間**／最長20年
◎問合せ先：公益財団法人 交通遺児育英会　http://http://www.kotsuiji.com/　［電話相談室］☎0120-521219

知ってて損なし!!

交通遺児育英会以外に全国の交通事故被害者援護制度はありますか？

独立行政法人 自動車事故対策機構　☎03-5608-7560（本部）
（公財）交通遺児等育成基金
［交通遺児育成基金事業］☎0120-16-3611　［交通遺児等援護事業］☎03-3237-0158
（財）道路厚生会　☎03-3288-8393



高校・高等専門学校等進学を希望する人のための支援制度



奨学金や福祉資金、進学を応援するための様々な支援を紹介します。

経済的理由で高等専門学校への就学が困難な生徒を支援

貸与　日本学生支援機構貸与奨学金

国内の高等専門学校で学ぶ生徒のための奨学金です。

［第一種は、宮崎県育英資金との併用不可。４年次進級時に貸与月額増額］

貸与限度額

第一種（無利子）

（円）

区　分		自　宅	自宅外
1～3年	国公立	21,000	22,500
	私　立	32,000	35,000
4・5年	国公立	45,000	51,000
	私　立	53,000	60,000

※1～3年生については、上表の金額以外に貸与月額10,000円を選択することができます。※4～5年生の上表以外の月額については、日本学生支援機構のホームページをご確認ください。※2020年度より始まる新しい給付型奨学金を併せて利用する場合、貸与月額が制限されます。

高等専門学校

実践的・創造的技術者を養成することを目的とした高等教育機関です。全国に国公私立合わせて57校あり、全体で約6万人の学生が学んでいます。



第二種（有利子）

［4・5年が対象］

2万円～12万円の1万円単位の金額の中からいずれかを選択

■**申込窓口**／在学する中学校　■**返還期間**／貸与総額により決定（最大20年）

■**申請期間**／10～12月中旬（進学後に在学採用及び緊急採用制度あり）

◎問合せ先：日本学生支援機構　https://www.jasso.go.jp/index.html

日本学生支援機構奨学金相談センター　TEL 0570-666-301

知ってて損なし!!



他にPTA会費、修学旅行費等の学校徴収金や制服・体操服等、学校指定物品代などもかかります。

※金額は学校によって異なります。

高校受験に関する費用をお知らせします。

［公立］

■**受験料**／2,200円
［定時制／950円］

■**入学金**／5,650円
［定時制／2,100円　通信制／500円］

■**授業料**／9,900円/月
［定時制／履修科目1単位1,620円］
［通信制／履修科目1単位230円］

［私立］

■**受験料**／10,000円
［宮崎市内の平均／10,000円］

■**入学金**／約190,000円
［宮崎市内の平均／188,571円］

■**授業料**／約24,000円/月
［宮崎市内の平均／23,862円/月］

［都城高等専門学校］

■**受験料**／16,500円　■**入学金**／84,600円　■**授業料**／234,600円/年

［宮崎県 福祉保健課調］

保護者等が県内に居住している家庭の生徒を支援

貸与［無利子］ 宮崎県育英資金

高校・高専・専修（高等）学校奨学金

［日本学生支援機構貸与奨学金、母子父子寡婦福祉資金の修学資金との併用原則不可］

高等学校（中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部を含む）・高等専門学校・専修（高等課程）学校で学ぶ生徒のための奨学金です。

［一　般］保護者等が宮崎県内に居住している人
［へき地］保護者等が県で定めるへき地に居住している人

貸与月額　［3つの金額から選択可能］

一般育英資金　（円）

学校種別・通学の方法		区分①	区分②	区分③
国公立	自　宅	18,000	14,000	9,000
	自宅外	23,000	18,000	12,000
私　立	自　宅	30,000	23,000	15,000
	自宅外	35,000	27,000	18,000

へき地育英資金　（円）

学校種別・通学の方法		区分①	区分②	区分③
国公立	自　宅	27,000	21,000	14,000
	自宅外	38,000	29,000	19,000
私　立	自　宅	34,000	26,000	17,000
	自宅外	45,000	34,000	23,000

■申込窓口／在学する学校
■返還期間／貸与を受けた期間の4倍以内（最大20年）
■申請期間／予約採用：中学3年生の7月～9月、在学採用：入学時または在学中の3月下旬～4月下旬
※年度途中で家計が急変した生徒に対する緊急採用制度があります。

◎問合せ先：在学する学校または県教育庁財務福利課育英資金室　☎0985-32-4472
http://www.pref.miyazaki.lg.jp/ikueishikin/kurashi/kyoiku/index-02.html

高等学校等の授業料を支援

給付 高等学校等就学支援金

高校授業料に対する支援　［学校において授業料と相殺］



保護者等の道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額の合算額が50万7,000円未満の人の授業料を支援します。

給付額

（円）

区　分	所得割額	給付額
全日制（公立・私立）	507,000円未満	年118,800
全日制（私立）	257,500円未満	年178,200
	85,500円未満	年237,600
	0円（非課税）	年297,000

※学校の授業料を上限

■申込窓口／在学する高等学校等
■申請期間／4月（1年生のみ）、6・7月（全学年）

◎問合せ先：公立／県教育庁高校教育課　☎0985-26-7237
http://www.pref.miyazaki.lg.jp/kokokyoiku/index.html
私　立／県みやざき文化振興課　☎0985-26-7118
http://www.pref.miyazaki.lg.jp/miyazaki-bunkashinko/index.html

県教育庁
高校教育課

県みやざき
文化振興課

授業料以外の教育費を支援

給付

高等学校等奨学給付金

授業料以外の教育費を支援する

※年に１回給付（返済不要）修学旅行費用などにあてられます。

保護者等の道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額が非課税の人、生活保護（生業扶助）受給世帯に給付。

給付額

※年額（令和元年度の額です）

生活保護世帯（生業扶助受給世帯）　（円）

区　分		給付額
全日制 定時制	国公立	32,300
	私立	52,600
通信制	国公立	32,300
	私立	52,600

非課税世帯（被扶養兄姉・無）　（円）

区　分		給付額
全日制 定時制	国公立	82,700
	私立	98,500
通信制	国公立	36,500
	私立	38,100

非課税世帯（被扶養兄姉・有）　（円）

区　分		給付額
全日制 定時制	国公立	129,700
	私立	138,000
通信制	国公立	36,500
	私立	38,100

■申込窓口／在学する高等学校等　※県外の方は、保護者の居住する都道府県へ申請してください。
■申請期間／7月～9月頃

◎問合せ先：国公立／県教育庁高校教育課　☎0985-26-7237
http://www.pref.miyazaki.lg.jp/kokokyoiku/index.html
私　立／県みやざき文化振興課　☎0985-26-7118
http://www.pref.miyazaki.lg.jp/miyazaki-bunkashinko/index.html

県教育庁
高校教育課

県みやざき
文化振興課

その他、各市町村でも独自の奨学金制度を設けている場合があります。詳しくはお住いの市町村役場にお問い合わせください。

経済的な理由で私立高校への進学が困難な人へ

私立高等学校授業料減免

保護者等の県民税所得割額及び市町村民税所得割額が非課税であるなど、経済的な理由により、授業料の納付が困難である人を支援します。

■申込窓口／在学する私立高等学校　■申請期間／６～８月頃
◎問合せ先：県みやざき文化振興課　☎0985-26-7118

生活保護世帯の児童・生徒の就学を支援

給付 生活保護

生活保護を受けている家庭のうち、義務教育や高校に通っている場合に、教育の支援として、２つの扶助（教育扶助・生業扶助）があります。

※生活保護を受けている家庭で、小中学校や高等学校に通っている子どもがいる場合には、お住まいの地域の福祉事務所に相談してください。学校に入学や進学、就職する等が分かった時には、事前に相談してください。

教育扶助

生活保護受給世帯の小中学生を対象とし、公立小中学校で必要な学用品代、給食費などの費用として利用できます。

給付額

入学準備金　79,500円以内

基準額（中学校）　5,000円／月　　**学習支援費（中学校）**　58,700円以内／年

教材代／学校長または教育委員会が指定するものの購入に必要な額
※教材を購入する前に事前に相談してください。

給食費／保護者が負担すべき給食費の額

生業扶助（高等学校等就学費）

生活保護受給世帯の高校生が、高等学校で必要な学用品代などの費用として利用できます。

給付額

入学準備金　86,300円以内

基準額　5,200円／月　　**学習支援費**　83,000円以内／年

教材代／正規の授業に使用する教材の購入に必要な額
※教材を購入する前に事前に相談してください。

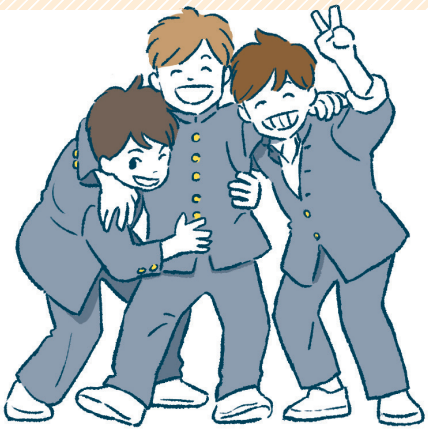
通学費／通学に必要な最小限の額
※定期券を購入する前に事前に相談してください。

受験料（私立高校含む）

入学料／県立高校と同額

■**申込窓口**／市にお住まいの方：市福祉事務所、町村にお住まいの方：県福祉事務所または町村役場の福祉担当課

◎**問合せ先：市にお住まいの方／市福祉事務所**
町村にお住まいの方／県福祉事務所または町村役場の福祉担当課



低所得世帯の生徒・学生を支援

貸与［無利子］ 生活福祉資金（教育支援費・就学支度費）

低所得者世帯（市町村民税非課税程度）に属する就学者本人に教育支援費、就学支度費を貸与します。

※生活福祉資金は日本学生支援機構奨学金など他の制度の利用が優先されます。そのため、専門学校、短期大学、大学へ進学予定の方は日本学生支援機構奨学金などを生活福祉資金の申請時に申し込んでおく必要があります。それでも不足する場合、審査の上、費用の貸付を行います。

貸与限度額

（円）

区分		貸付額
教育支援費	高校	月35,000以内
	高専	月60,000以内
	大学	月65,000以内
	短大・専修（専門）	月60,000以内
就学支度費		500,000以内

教育支援費
高等学校、または高等専門学校、大学、短期大学、専修（専門）学校に**就学するのに必要**な経費

就学支度費
高等学校、または高等専門学校、大学、短期大学、専修（専門）学校**入学に際し必要**な経費

■**申込窓口**／お住まいの各市町村社会福祉協議会
■**返還期間**／貸与金額により**4年～20年以内**（卒業後6月以内は据置期間）
■**申請期間**／**随時**　※就学支度費は原則として入学前（3月末）まで
■**連帯債務者等**／①就学者世帯の「生計中心者」に連帯債務者になっていただきます。
②世帯の収入、負債等の状況によって必要とされる場合には、連帯保証人（別生計、別世帯）に債務に加わっていただきます。

◎問合せ先：お住まいの各市町村社会福祉協議会

ひとり親家庭の子どもの就学を支援

貸与［無利子］ 母子父子寡婦福祉資金

修学資金・就学支度資金［修学資金については、宮崎県育英資金との併用原則不可］



ひとり親家庭の母または父で、現在子を扶養している人、またはその子に修学資金等を貸与します。

貸与限度額

修学資金（月額）　（円）

区　分		自　宅	自宅外
高　校	国公立	27,000	34,500
	私　立	45,000	52,500
高　専	国公立	31,500	33,750
	私　立	48,000	52,500

就学支度資金　（円）

区　分		自　宅	自宅外
高　校	国公立	150,000	160,000
	私　立	410,000	420,000
高　専	国公立	370,000	380,000
	私　立	580,000	590,000

修学資金：高等学校、高等専門学校で**修学するのに必要**な経費
就学支度資金：高等学校、高等専門学校の**入学に際し必要**な経費

■**申込窓口**／市にお住まいの方／各市役所の子ども福祉担当課
町村にお住まいの方／県福祉こどもセンター、児湯福祉事務所、西臼杵支庁福祉課
■**返還期間**／原則として修学期間の4倍以内
■**申請期間**／修学資金は随時。就学支度金は入学式前まで

◎問合せ先：県こども家庭課　☎0985-26-7041　http://www.pref.miyazaki.lg.jp/kodomo-katei/kenko/kodomo/shikin.html
宮崎市にお住まいの方／宮崎市子育て支援課　☎0985-21-1765　E-mail:10jidou02@city.miyazaki.miyazaki.jp

交通遺児の進学を支援

貸与［無利子］ 交通遺児育英会奨学金

高校・高専奨学金 ［進学準備金の貸与を受けた方は、進学後の入学一時金は貸与されない］

保護者の方が道路上の交通事故で亡くなられたか、または後遺障害者になったため働けず、経済的に困っている生徒のための奨学金です。

貸与・給付額

奨学金（月額）2万円、3万円または4万円から選択
入学一時金　20万円、40万円または60万円から選択
進学準備金　40万円、60万円または80万円から選択

申請期間

［**第1次**］平成27年9月30日
［**第2次**］平成28年2月29日
［**在学募集**］平成28年1月29日
※参考：H27 年度

■**申込窓口**／在学する学校等　■**返還期間**／最長20年
◎**問合せ先：公益財団法人 交通遺児育英会**　http://http://www.kotsuiji.com/

交通遺児に対する支援

給付 交通遺児に対する支援事業

両親又はいずれかの親が陸上の交通事故により亡くなった小・中学生を支援します。
※親が再婚して子どもと養子縁組をした場合は除きます。

入学祝金支給事業　50,000円（小・中学入学時）　■**申請期間**／4～5月頃
激励品配布事業　図書カード1万円分程度（年1回）　■**申請期間**／10～11月頃
卒業祝金支給事業　50,000円（中学卒業時）　■**申請期間**／12～1月頃

※在学校を通じて申請をお願いしています。申請期間を過ぎている場合は問合せをお願いします。

■**申込窓口**／宮崎県交通安全対策推進本部　◎事務局：県生活・協働・男女参画課
◎**問合せ先：宮崎県交通安全対策推進本部**　◎**事務局：県生活・協働・男女参画課**　☎0985-26-7054

memo

小・中学生向けの就学援助

学用品費や給食費などの費用の一部を援助します。各市町村で対象の基準が異なりますので、詳細は各市町村または学校にお問い合わせください。

経済的理由により就学困難な、小・中学校に在籍中の児童生徒の保護者へ支給されます。

援助の例 ※市町村によって異なります。

学用品費	小学校：11,520円、中学校：22,510円	**通学費**	小学校：39,620円、中学校80,070円
通学用品費	小学校：2,250円、中学校：2,250円 ※新1年生を除く	**体育実技用品費**	柔道：7,570円、剣道：52,380円 ※柔道・剣道用具費
新入学用品費	小学校：50,600円、中学校57,400円 ※新1年生のみ	**校外活動費**	
		宿泊を伴わない	小学校:1,580円、中学校:2,290円
修学旅行費	小学校：21,670円、中学校60,300円	宿泊を伴う	小学校:3,650円、中学校:6,150円

■**申請期間**／市町村によって異なります
◎**問合せ先：[窓口] 通われている小・中学校。またはお住まいの市町村窓口**

私立小中学校への進学を支援

給付 私立中学校等修学支援実証事業費補助金

保護者等の年収が 400 万円未満であり、資産保有額 600 万以下の世帯に対し、私立小・中学校の授業料を支援します。

給付額

児童生徒 1 人あたり、10 万円を上限に支給

※年に 1 回交付（返済不要） ※授業料にあてられます。

■**申込窓口**／在学する私立小中学校　■**申請期間**／7月～9月頃
◎**問合せ先：県みやざき文化振興課　☎0985-26-7118**

特別支援学校・学級に進学する児童・生徒を支援

給付 特別支援教育就学奨励費

特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級等に就学する児童・生徒の保護者等へ給付されます。

給付額

費目ごとに支給範囲や基準がある。また、世帯の収入状況等によって補助の割合が異なる。

※保護者等が負担した費用の全額が支給されるわけではありません。

■**申請期間**／児童生徒が在籍する学校において指定する期間
◎**問合せ先：県立特別支援学校／各特別支援学校及び県教育庁特別支援教育課**
市町村立小中学校／通われている小・中学校及び各市町村教育委員会

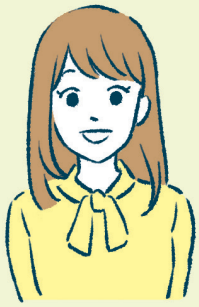


様々な支援制度を利用してがんばっている先輩達の事例を見てみよう。



県内の国立大学［自宅］

［日本学生支援機構貸与奨学金 第一種･第二種］



高校の時から奨学金を利用しています。学費の一部を自分で借りたお金で払っていると思うと一段と勉強に身が入ります。

［収入］95,000円	
第一種	45,000円
第二種	50,000円
［支出］87,294円	
授業料※2	44,650円
生活費※3	
･食費、住居費	11,431円
･教育娯楽費等	14,007円
･その他	17,206円

県外の国立大学［自宅外］

［日本学生支援機構貸与奨学金 第一種･第二種］＋アルバイト

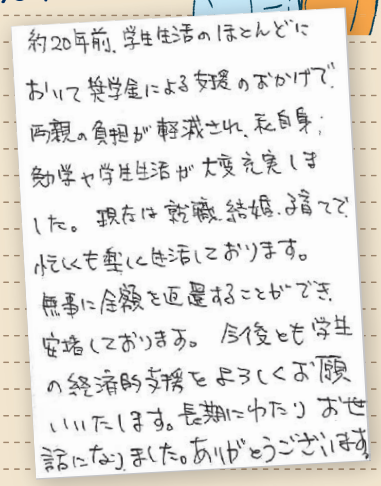


自分の未来は自分で切り開く。そんな思いで奨学金を利用しました。自営業を営んでいる両親にも負担をかけたくなかったので。

［収入］141,000円	
第一種	51,000円
第二種	80,000円
アルバイト※1	10,000円
［支出］129,996円	
授業料※2	44,650円
生活費※3	
･食費	20,217円
･住居費	36,348円
･教育娯楽費等	14,200円
･その他	14,581円



先輩達の声



このたび、奨学金の返還完了証をいただきました。無事、返還を終えることができ、正直、ほっとしているところです。受験を控えていた最中に阪神大震災により家は半壊しました。なんとか大学に合格したものの、学費が大きな悩みでした。奨学金のおかげで大学に通うことができ、多くの仲間に出会えたことが、今の私にとっての大きな財産です。

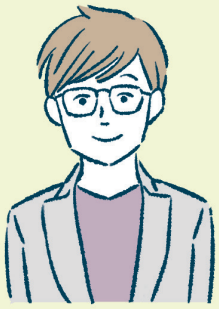
今日で全額お返ししました。美術大学を卒業し、障害をもつ子どもたちの学校で図工、美術・工芸の授業をしてきました。車いすの子どもたちに絵を教えるのが夢だったので、夢が叶いとても感謝しています。ありがとうございました。これからも夢を叶える学生につながっていきますように。

私はお借りした奨学金で夜間部の大学を卒業し、教員免許と司書の資格を取得することができました。お陰様で現在その資格を活かし、放課後児童クラブ（学童保育）の支援員として勤めております。父の病気などもあり、奨学金制度がなければ大学に進むことは難しく、又、この制度がなければ今の自分はなかったと思っております。今では家庭を持ち、二人の子宝にも恵まれました。本当に感謝しております。

私は母子家庭ということもあり、大学に進学したいと思っていましたが、経済的理由で諦めようと考えていました。しかし、給付奨学生の存在を知り、大学への進学を諦めずに済みました。給付奨学金のお陰で、現在、授業料、生活費。色々な面で助けら

県内の私立大学［自宅］

［日本学生支援機構貸与奨学金 第一種・第二種］＋アルバイト



中学校から続けていた吹奏楽をさらに高いレベルで続けたくて私立大学に進学。奨学金がなければあきらめていたかもしれません。

［収入］154,000円

第一種	54,000円
第二種	90,000円
アルバイト※1	10,000円

［支出］148,371円

授業料※2	105,727円
生活費※3	
・食費、住居費	11,431円
・教育娯楽費等	14,007円
・その他	17,206円

県内（外）の私立大学生［自宅外］

［日本学生支援機構貸与奨学金 第一種・第二種］＋アルバイト



子どもの頃からの憧れだった研究者を目指して関東の大学で勉強しています。学費だけでなく生活費も必要なので、奨学金無しでの進学は考えられませんでした。これからも夢に向かって前進していきます！

［収入］194,000円

第一種	64,000円
第二種	120,000円
アルバイト※1	10,000円

［支出］191,073円

授業料※2	105,727円
生活費※3	
・食費	20,217円
・住居費	36,348円
・教育娯楽費等	14,200円
・その他	14,581円

※1／実験や実習などでアルバイトができない学部や試験、就職活動等でアルバイトができない学年もあります。
（1～2年次に月2万円のアルバイト収入を4年間で月割りし算出：(2万円×24月）÷48月＝1万円）
※2／授業料は、年額を月額で計算しています。
※3／生活費は、全国の平均値（P6～7参照）のため地域によって異なり、都市部では増額することが見込まれます。
返済のことを考えて、借入額を検討する必要があります。また日常生活を節約する工夫もしてみましょう。



◎収入が支出を上回って残る場合は、3・4年次アルバイトができないことや将来の返還のために積み立てておく必要があります。
◎申請しても許可されるとは限りませんが、大学で授業料免除の申請もできます。

れています。大学への進学を諦めなかったことで、学びたいことを学べ、沢山の友人ととても充実した生活を送ることができています。私のように大学への進学を諦めようと考えている方々に給付奨学金の存在を知り、大学進学を実現させてほしいです。

私は現在、親から仕送りをもらっていませんが、給付奨学金とバイト代で不自由なく生活できています。そのため両親への負担を減らすことができ、下の兄弟の進学も考えられるようになりました。

私は宮崎出身なので都会に憧れを持っていたのと、中学3年生の時に自分の将来について考えたところ、農学の観点から医療について学び、研究職に就きたいと思い、関東にある農学系の大学を目指して勉強に励んできました。しかし、私は母子家庭で妹もいたので、母からは経済的理由から地元の大学に行くように反対されていました。それでも、どうしても自分の夢を諦めきれず、自分の気持ちを母に伝えたところ、日本学生支援機構の奨学金を借りることを許してくれました。さらに、給付型奨学金もあると知り、それも貰うことにしました。そして、今、この奨学金のおかげで、私は何不自由なく関東の農学系の大学に進学することが出来ています。私と同じく経済的理由で親から反対されて自分の進路に悩んでいる方々はたくさんいると思いますが、奨学金を貰うという選択することで、自分の夢を諦めずに頑張って欲しいです。

私の家庭は父がなくなり、母一人で私と妹を育てています。また、私は大学へ進学しても野球を続けたいという思いがあり、奨学金を利用して、とても学生生活を送ることができています。

薬学部は他の学部に比べて6年と長く学費も高いですが奨学金がもらえたおかげで通うことができています。私は奨学金は交通費や教科書代に使い、遊び等の自由に使うためのお金はバイトをして稼ぐようにしています。そのため仕送りは必要最低限の金額だけでいいので親の負担を減らすことができているのかなと思います。

◎独立行政法人 日本学生支援機構「奨学金事業への理解を深めていただくために」より

みんなどうやって返還をしているのかな？



[宮崎県育英資金（一般）を利用] ◎宮崎県育英資金の返還期間は貸与期間の4倍以内（最大20年）です。

国公立高校の自宅通学で、貸与月額18,000円を3年間借りた場合

３年間の貸与総額　648,000円　◎12年間で返還する場合　**4,500円/月**

私立高校の自宅通学で、貸与月額30,000円を３年間借りた場合

３年間の貸与総額　1,080,000円　◎12年間で返還する場合　**7,500円/月**

[日本学生支援機構奨学金を利用] ◎日本学生支援機構の返還期間は最大20年です。

※利率の算定方法として、①利率固定方式（貸与終了時に決定した利率を返還完了まで適用。及び、②利率見直し方式（返還期間中、おおむね5年ごとに見直された利率を適用）のうち、いずれか一方を第二種奨学金を申し込む際に選択する。（利率は年3%が上限）

第一種と第二種を併用した場合 ※第一種のみ、第二種のみの場合はそれぞれの返還額となります。

県内の国立大学生（自宅）



４年間の貸与総額

第一種	2,160,000円	◎14年間で返還する場合	12,857円/月
第二種	2,400,000円	◎20年間で返還する場合	13,483円/月

県外の国立大学生（自宅外）



４年間の貸与総額

第一種	2,448,000円	◎15年間で返還する場合	13,600円/月
第二種	3,840,000円	◎20年間で返還する場合	16,235円/月

県内の私立大学生（自宅）



４年間の貸与総額

第一種	2,592,000円	◎15年間で返還する場合	14,400円/月
第二種	4,320,000円	◎20年間で返還する場合	18,266円/月

県内（外）の私立大学生（自宅外）



４年間の貸与総額

第一種	3,072,000円	◎18年間で返還する場合	14,222円/月
第二種	5,760,000円	◎20年間で返還する場合	24,354円/月

※第二種奨学金の返還月額は2019年3月貸与終了者の利率0.14%で算出

給料から返還していくことになるので、しっかりとした返還計画を立てておきましょう！
大学初任給平均 全国平均203,400円［平成28年（厚生労働省）賃金構造基本統計調査結果］

Q&A コーナー

Q1 複数の奨学金の貸与を受けることができるのかな？

奨学金には、他の奨学金との重複貸与を認めないものもありますので、学校の先生や各問合せ先に確認してください。ただし、複数の貸与が可能であっても、返還の必要な奨学金の場合は、返還時の負担が大きくなるので、将来のことをしっかり考えて判断することが必要です。

Q2 成績があまり良くなくても奨学金は借りられるのかな？

奨学金によっては成績要件があります。借りられるようにしっかり勉強しましょう。

Q3 休学や留年した場合、奨学金はどうなるのかな？

休学や留年、退学した場合、奨学金の貸与はいったん休止または停止される場合があります。将来の目標を達成するためにも、勉学に励みましょう。

Q4 連帯保証人とは？

借りたお金を返せないときに、あなたに代わって返還をする義務のある人（保護者等）のことです。大切なことなので、しっかり説明をした上で連帯保証人になってもらいましょう。

Q5 病気やけがで仕事に就けない場合や収入が少ない場合の返還はどうなるのかな？

返還が困難な場合には、猶予（先延ばし）制度や減額返還制度が利用できる場合がありますので、まずは相談してください。また、そのような事態になった場合も十分に考え、連帯保証人である保護者等とも、どのように返還するかの話し合いも必要です。

Q6 もし、返還をしなかったらどうなるのかな？

正当な理由もなく返還が遅れる場合や返還しない場合には、あなただけでなく、連帯保証人に対しても返還についての文書の送付や自宅訪問などが行われます。それでも返還しない場合は、裁判所に返還請求を申し立てられる場合があるので、返還のことはしっかりと考えてください。

Q7 返還したお金はどうなるの？

卒業したみなさんからの返還金は、次の後輩たちへの奨学金として利用していきます。みなさんの返還が滞ると後輩たちに貸し出す奨学金が足りなくなってしまうので、後輩たちのためにしっかりと返還しましょう。

就職を希望する人のための支援制度



経済的理由で就職の支度が困難な人や特定の職業に就く人を支援します。

就職のために必要な経費を給付

給付 生活保護

就職支度費

就職のため直接必要とする洋服類、くつ等の購入費用を給付します。

給付額

31,000円以内　※申請は就職が内定した時期です。

■**申込窓口**／市にお住まいの方：市福祉事務所、町村にお住まいの方：県福祉事務所または町村役場の福祉担当課

◎**問合せ先：市にお住まいの方／市福祉事務所**
町村にお住まいの方／県福祉事務所または町村役場の福祉担当課

就職するために必要な資金を貸与

貸与［無利子］ 母子父子寡婦福祉資金



就職支度資金

※条件によっては年1.0%の利子があります。

就職する際に必要になる服や履物の購入に必要な経費として利用することができます。

貸与限度額

100,000円以内　※就職に際し、通勤のために自動車の購入が必要な場合は、自動車購入にあてられる23万円が追加されます。

■**申込窓口**／市にお住まいの方／各市役所の子ども福祉担当課
町村にお住まいの方／県福祉こどもセンター、児湯福祉事務所、西臼杵支庁福祉課
■**返還期間／最大**6年（貸付けの日から1年は措置期間）

◎**問合せ先：県こども家庭課**　☎0985-26-7041
http://www.pref.miyazaki.lg.jp/kodomo-katei/kenko/kodomo/shikin.html
宮崎市にお住まいの方／宮崎市子育て支援課　☎0985-21-1765
E-mail:10jidou02@city.miyazaki.miyazaki.jp

介護職員として県内で再就職した人、介護福祉士資格を取得したい人に

貸与［無利子］ 介護福祉士修学資金等貸付制度

離職介護人材再就職準備金

宮崎県に住民登録をしている人、または県内で介護職員等として勤務した人が、介護職員等としての一定の知識・経験を持ち、県内で介護職員等として再就職した場合、利用できます。

貸付額

200,000円以内　※県内において再就職後２年間、介護職員として従事した場合には、貸付金が全額返還免除になります。

■返還期間／15ヶ月間　■申請期間／随時
◎問合せ先：宮崎県社会福祉協議会 福祉人材貸付相談室　☎0985-61-2424
http://www.mkensha.or.jp/loan/k_risyoku.html

介護福祉士実務者研修受講資金

介護福祉士実務者研修を受講する人で、修了後、県内で介護等の仕事をする意思のある人を支援。

貸付額

200,000円以内

■申込窓口／宮崎県社会福祉協議会福祉人材貸付相談室　※申請には事業所等の推薦が必要です。
■返還期間／15ヶ月間
※原則、実務者研修を修了した日から１年以内に、介護福祉士の登録を行い、県内において
介護または相談援助業務に２年間従事した場合には貸付金が全額返還免除になります。
■申請期間／随時
◎問合せ先：宮崎県社会福祉協議会 福祉人材貸付相談室　☎0985-61-2424　http://www.mkensha.or.jp/loan/k_jitsumu.html

保育士として県内に再就職した人に

貸与［無利子］保育士就職準備金貸付

保育士資格を有しているが保育士として勤務していない人に再就職のために必要な費用を貸与します。

貸付額

200,000円以内　※県内において再就職後２年間、保育士として従事した場合には、貸付金が全額返還免除になります。

■返還期間／15ヶ月間　■申請期間／就職内定もしくは就職後1ヶ月以内
◎問合せ先：宮崎県社会福祉協議会福祉人材貸付相談室　☎0985-61-2424
http://www.mkensha.or.jp/loan/h_jyunbi.html

林業を継ぐことを考えている高校生を支援

貸与［無利子］林業後継者育英資金［他の制度との重複貸与可能］

県内に住所を有する森林所有者及び林業就業者の子弟で、将来林業に従事することを目指す県内の高校生が利用できる制度です。

貸与限度額

（円）

自　宅	自宅外
15,000	20,000または25,000（選択制）

■返還期間／借受期間の3倍（林業就業の場合は免除）　■申請期間／3～4月頃　■申込窓口／各市町村林業担当課
◎問合せ先：各市町村林業担当課

漁業を目指す県立高等水産研修所の入所生に

給付 次世代人材投資（準備型）資金

県立高等水産研修所の入所生で、卒業後、漁業に就業する人に交付されます。

※本制度では、３親等以内の親族の下で就業する場合、給付対象となりませんが、別の支援で対象となる場合がありますので申込窓口までお問い合わせ下さい。

交付額

年間最大 150 万円

■申請期間／入所後　■申込窓口／宮崎県立高等水産研修所

◎問合せ先：宮崎県立高等水産研修所　☎0987-22-2058

https://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/nosei/suisan/kenshujo/

就農を目指して研修を受ける人に

交付 農業次世代人材投資資金（準備型）

独立・自営就農、雇用就農または親元での就農を目指して研修を受ける人に交付されます。

※この他にも交付要件があります。

交付額

年間最大 150 万円を最長２年間

■申請期間／年2回　■申込窓口／宮崎県農業振興公社

◎問合せ先：宮崎県農業振興公社　☎0985-51−2011

http://www.mnk.or.jp/

知ってて損なし !!

独立・自営就農を考える青年就農者のための支援もあります！



農業次世代人材投資資金（経営開始型）

●原則として 50 歳未満で独立・自営就農する認定新規就農者に交付されます。

交付額

年間最大 150 万円を最長５年間

主な交付要件等

●独立・自営就農であること
●農地の所有権または利用権を有していること
●主要な機械・施設を所有または借りていること
●生活保護等、生活費を支給する国の他の事業と重複で交付を受けていないこと

農業人材投資資金

●原則として 50 歳未満で就農する認定新規就農者等で規模拡大を行う者　※この他にも交付要件があります。

交付額

年間最大 100 万円（1回限り）　※交付額は市町村によって異なります。

申請期間　各市町村によって異なる

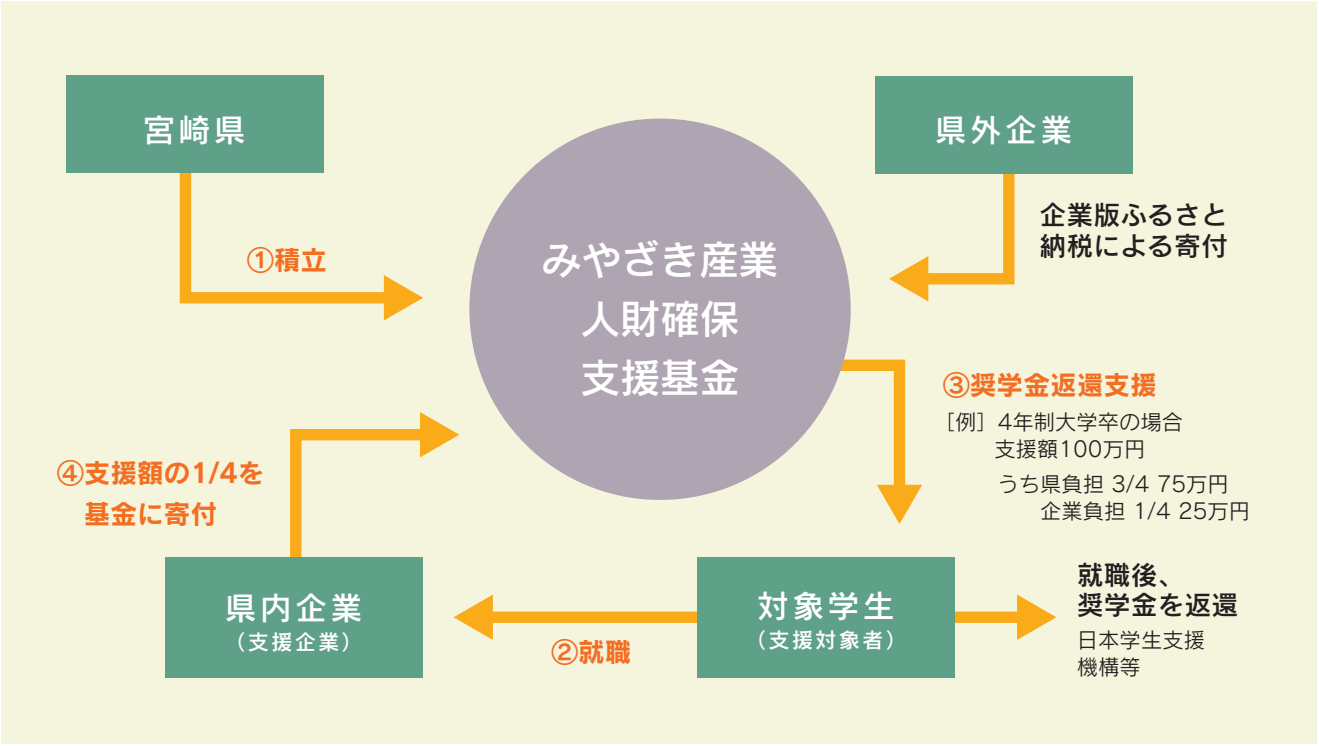
◎申込み窓口・問合せ先：各市町村農業担当課

あなたの力でひなた創生 !! 宮崎県と県内企業があなたと一緒に奨学金を返還します！

ひなた創生のための奨学金返還支援事業

宮崎県では、県内の企業に就職する学生等の皆様に対する奨学金返還に係る支援制度を設け、将来の宮崎を担う産業人財を支援します。

事業イメージ



対象者

対象となる県内企業※に正規雇用により就職する予定のある大学等の在学生又は既卒者

※県内勤務に限定した採用枠を有する県外企業を含む。　※対象となる企業は下記HPでご確認ください。

対象となる奨学金

●日本学生支援機構奨学金　●宮崎県育英資金　●宮崎県奨学会奨学金

支援金額

大学院・6年制大学　1,500,000円［限度額］
4年制大学　1,000,000円［限度額］
短大・高専・専修学校　500,000円［限度額］

※勤続期間（1年、3年、5年）に応じて分割して支援します。

対象人数

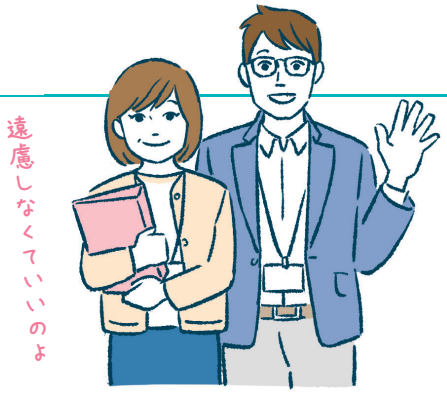
毎年度40名、合計320名の支援対象者を決定します。

※平成29年度～令和6年度の8か年

◎問合せ先：県産業政策課　☎0985-26-7967
専用HP：「CHOICE!- みやざきではたらく -」 http://choice-miyazaki.com/

その他の様々な支援制度

進学や就職などの経済的な支援だけでなく
相談など様々な支援があります。



ひとり親などの児童を養育する人へ

給付 児童扶養手当

ひとり親家庭の父又は母、父母に代わって児童を養育している人が申請できます。
※児童：18 歳に達する日以降の最初の 3 月 31 日までの間にある子。障がい児は 20 歳未満

給付額 ［扶養親族が1人の場合］

所得額／870,000 円未満 42,910 円 / 月
所得額／870,000 円以上 2,300,000 円未満 42,900 円 / 月～10,120 円 / 月

※児童が 2 人の時は、最大 10,140 円加算　※児童が 3 人以上の場合は、3 人目以降の児童 1 人につき、最大 6,070 円加算

■**申請期間**／随時　※申請の際に必要な書類等は窓口にお問い合わせください。
■**申込窓口**／お住まいの市町村担当課
◎問合せ先：県こども家庭課　☎0985-26-7041
http://www.pref.miyazaki.lg.jp/kodomo-katei/kenko/kodomo/jifu.html
お住まいの市町村担当課

生活していく上での困りごとを支援

生活困窮者自立支援制度

さまざまな生活上の困りごとの相談を受け止める「自立相談支援」、子どもが規則正しく生活し、勉強ができるように支援を行う「学習支援」、家計に関する相談を行う「家計相談支援事業」などがあります。

子どものこと、仕事のこと、家庭のこと、生活全般のことなどご相談ください。

自立相談支援事業

生活に困りごとや不安を抱えている場合は、まずは地域の相談窓口にご相談ください。支援員が相談を受けて、どのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行います。

生活困窮世帯の子どもの学習支援事業※

子どもの学習支援をはじめ、日常的な生活習慣、仲間と出会い活動ができる居場所づくり、進学に関する支援、高校進学者の中退防止に関する支援等、子どもと保護者の双方に必要な支援を行います。

家計相談支援事業※

家計に関する相談や家計管理に関する指導、貸付の斡旋などを行います。

■**対象**／毎日の生活又は金銭的にお困りの方　■**休日**／土・日・祝祭日、年末年始
◎問合せ先：市にお住まいの方／市福祉事務所　町村にお住まいの方／郡部福祉事務所又は町村役場の福祉担当課

※一部の福祉事務所で実施

児童養護施設を退所し、自立を目指す人を支援

貸与［無利子］ 児童養護施設退所者等自立支援資金

①**進学者**／大学や専門学校等への進学により、児童養護施設等や里親等を退所又は委託解除となった人で、進学後保護者等からの経済的な支援が得られないことにより、住居や生活費など生活基盤の確保が困難と見込まれる人

②**就職者**／就職により児童養護施設等や里親等を退所又は委託解除となった人で、就職後、保護者等からの経済的な支援が得られないことにより、住居など生活基盤の確保が困難と見込まれる人

③**資格取得希望者**／児童養護施設等や里親等に入所又は委託中の人で、就職に必要な各種資格を取得することを希望する人

貸付の種類等

生活支援費
［対象者］進学者　［貸与額］50,000円/月　［貸与期間］大学等在学期間中

家賃支援費
［対象者］進学者及び就職者　［貸与額］1月あたりの家賃相当額
※居住する地域の生活保護の住宅扶助額（単身世帯）が上限となります。
［貸与期間］進学者：大学等在学期間中　就職者：施設等退所後２年間

資格取得支援費
［対象者］資格取得希望者　［貸与期間］貸付決定後に一括交付
［貸与額］資格取得に要する費用（上限額 250,000 円）
［返還期間］借受額により期間の定めがあり、以下の要件に該当する場合は返還免除になります。

返還免除要件
◎進学者／大学等卒業後、５年間就労を継続した場合
◎就職者／就職後、５年間就労を継続した場合
◎資格取得希望者／就職後、２年間就労を継続した場合

■申込窓口／宮崎県社会福祉協議会地域福祉部 生活支援課
◎問合せ先：宮崎県社会福祉協議会地域福祉部 生活支援課　☎0985-26-1695
https://www.mkensha.or.jp/

就職活動をサポートします

就職等相談窓口

専門相談員一人一担当制による就職相談、履歴書作成指導、面接指導、就職活動支援セミナーの開催、パソコンを利用した職業適性診断を行います。

ヤング JOB サポートみやざき

■宮崎本所　☎0985-23-7260　宮崎市錦町 1-10 KITEN3 階 みやざき JOB パーク＋内
［対象］40 歳未満の方　［相談時間］9：00～18：00　［休日］日・祝祭日、年末年始

■延岡サテライト　☎0982-35-2116　延岡市愛宕町2-15 延岡総合庁舎内
［対象］40 歳未満の方　［相談時間］9：00～17：00
［休日］土・日・祝祭日、年末年始

http://job-miyazaki.com/

キャリア相談、こころの相談、セミナー、職場体験、定着支援、ハローワークでの出張相談を行います。

みやざき若者サポートステーション

■宮崎本部　☎0985-25-4345　　宮崎市老松1丁目4-21 Kビル2階
■サテライト都城　☎0986-36-6510　　都城市東町4-30
■サテライト延岡　☎0982-37-1190　　延岡市土々呂町4丁目4390−1

［対象］15歳～39歳の方とその家族　［相談時間］10：00～17：00
［休日］土・日・祝祭日、お盆、年末年始（不定期で休日開所あり）

http://www.saposute-miyazaki.jp/

知ってて損なし!!

県立産業技術専門校での職業訓練

本　校（西都市）
高校卒業者以上を対象に2年間の職業訓練を行います。
（訓練科：木造建築科、構造物鉄工科、電気設備科、建築設備科）

授業料等
入校料：5,650円　**授業料**：年118,800円（月9,900円）
必要経費：10万円程度（教科書、参考書、実習服、作業靴等）　※授業料免除の措置があります。

試験時期
願書受付期間：例年10月上旬～下旬　**選考日**：例年11月上旬

高鍋校
中学校卒業者以上を対象に1年間の職業訓練を行います。
（訓練科：建築科、塗装科、販売実務科）　※販売実務科は知的障がい者を対象とします。

授業料等
入校料及び授業料：無料　**必要経費**：6万円程度（教科書、参考書、実習服、作業靴等）

試験時期
建築科・塗装科　**願書受付期間**：例年１月中旬～下旬　**選考日**：例年2月中旬
販売実務科　**願書受付期間**：例年12月中旬～下旬　**選考日**：例年１月中旬

◎問合せ先：本校 ☎0983-42-6501　高鍋校 ☎0983-23-0523　http://www.miyazaki-sangi.ac.jp/

どんな悩みも相談してください

教育相談ダイヤル

進路や勉強のこと、友だちのこと、学校や家庭のことなど、お気軽に聞いてください。

宮崎県教育研修センター「ふれあいコール」

■電話相談　☎0985-38-7654 または ☎0985-31-5562
［相談時間］8：30～21：00（月曜日～日曜日）　［休日］祝日、12月29日～1月3日

■来訪相談［教育研修センターへの来所（事前に予約が必要）］
［相談時間］10：00～17：00（月曜日～日曜日）　［休日］祝日、12月29日～1月3日

■臨床心理士相談［教育研修センターへの来所（事前に予約が必要）］
［相談時間］13：00～16：00（原則として毎月第２木曜日）

◎問合せ先：宮崎県教育研修センター　☎0985-24-3148
http://mkkc.miyazaki-c.ed.jp/consult/hureai/index.htm

24時間子供SOSダイヤル

■電話相談　☎0120-0-78310（なやみいおう）　［相談時間］毎日24時間

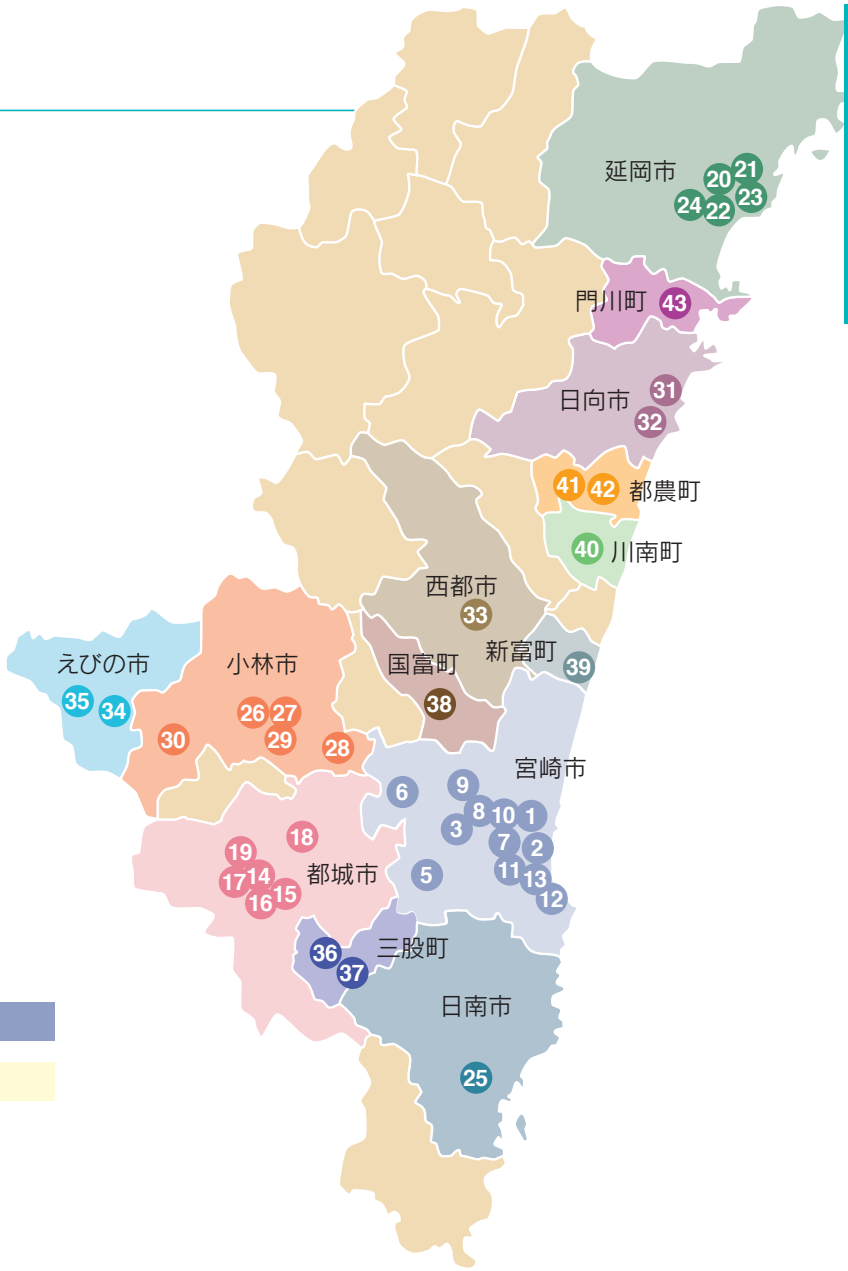
◎問合せ先：人権同和教育課　☎0985-26-7238

県内の子ども食堂

子ども食堂って？

子ども食堂とひと言でいっても様々な形があります。その名付け親である「気まぐれ八百屋だんだん こども食堂」の店主・近藤博子さんは、子ども食堂について「こどもが１人でも安心して来られる無料または低額の食堂」と言います。子ども食堂は食事を提供するだけでなく、子どもが子どもたち同士であるいは地域の様々な大人たちとふれ合うことができる交流の場所であるとも考えています。





宮崎市

1 東大宮こども食堂

場所	東大宮地域内
日時	不定期
料金	こども無料、大人300～500円
団体名	東大宮地区社会福祉協議会
電話番号	0985-62-2440

2 水ようごはん会

場所	宮崎市大橋1-189
日時	毎週水曜日、月1回土曜日
料金	こども500円、大人500円
団体名	社会福祉法人ゆくり
電話番号	0985-71-4040

3 カフェさくらんぼ

場所	宮崎市生目台東4丁目6-1 カリヨン生目台C-6
日時	毎月第2・4土曜日
料金	こども50円
団体名	生目台地区まちづくり推進委員会
電話番号	0985-71-0229

4 プレミアム親子食堂（各提携先飲食店）

場所	各提携先飲食店
日時	毎月第3土曜日
料金	無料
団体名	一般社団法人日本プレミアム能力開発協会
電話番号	070-5349-2372

5 このゆびとまれふれあい（子ども）食堂

場所	宮崎市田野町乙9415-15
日時	毎月第2土曜日
料金	こども150円、大人300円
団体名	ボランティアこのゆびとまれ
電話番号	0985-59-5311

6 こどもつなぐ食堂

場所	宮崎市高岡町五町190番地1
日時	不定期
料金	[予約有] 無料、[予約外] こども150円・大人500円
団体名	高岡まちづくり委員会
電話番号	0985-82-1039

7 こどもリビングちっくたっく

場所	大宮地域内
日時	毎週水曜日
料金	100円
団体名	合同会社Friendlyaction
電話番号	090-9799-7193

8 大塚台こどもの日「子ども食堂」

場所	宮崎市大塚台西2丁目19-1 大塚台地域福祉コミュニティセンター内
日時	夏休み・秋休み
料金	無料
団体名	大塚台地域まちづくり推進委員会
電話番号	0985-47-2010

9 上野ふれあい食堂

場所	宮崎市大字瓜生野2570-2 上野自治公民館
日時	奇数月第4土曜日
料金	無料
団体名	上野自治会
電話番号	0985-41-2243

10 江平レストラン

場所	江平小学校
日時	毎月第4土曜日
料金	無料
団体名	江平レストラン
電話番号	090-4078-3127

11 地域食堂「なごみランチ」

場所	宮崎市吉村町西田甲679－1
日時	不定期
料金	こども無料、大人100円
団体名	NPO法人ワーカーズコープ
電話番号	0985-26-1109

12 地域食堂　うみさちやまさち

場所	宮崎市青島西2丁目1 青島地域総合センター
日時	毎月1回、夏休み・冬休みは毎月2回
料金	こども50円、大人100円
団体名	地域食堂 うみさちやまさち
電話番号	080-4699-6788（子ども食堂コーディネーター直通）

13 子ども食堂みやこや

場所	宮崎市曽師町111-3
日時	毎月第2土曜日
料金	こども無料、大人500円
団体名	株式会社ナチュラルビー
電話番号	0985-24-9579

都城市

14 みらい創造舎　子ども食堂

場所	都城市都原町11－5
日時	土曜日、長期休み、学校振替休日
料金	地域の児童 こども100円
団体名	社会福祉法人つくし会 みらい創造舎
電話番号	0986-22-4323

15 みらい創造舎　晩ごはん

場所	都城市都原町11－5
日時	毎週火曜日、水曜日
料金	ひとり親世帯の児童　無料
団体名	社会福祉法人つくし会 みらい創造舎
電話番号	0986－22－4323

16 みらい創造舎　朝市・子ども食堂

場所	都城市都原町11－5
日時	年4回（5月、10月、12月、3月）
料金	こども・高齢者無料、大人200円
団体名	社会福祉法人つくし会 みらい創造舎
電話番号	0986－22－4323

17 らしく食堂

場所	都城市下川東1丁目11-2
日時	第4水曜日
料金	無料
団体名	一般社団法人らしくサポート
電話番号	0986-77-1840

18 ばぁばのお勝手

場所	都城市高城町石山1509-9
日時	第3日曜日 10：00～14：00
料金	こども無料、同伴の大人1名300円、高校生100円、大人500円
団体名	ばぁばの知恵袋さくら
電話番号	0986-58-4838

19 スマイルカフェ祝吉

場所	都城市郡元１丁目1-4 祝吉地区公民館
日時	毎月第3土曜日
料金	こども無料、大人100円
団体名	祝吉地区 社会福祉協議会
電話番号	0986-23-2890

延岡市

20 こども食堂のべおか　今山

場所	延岡市山下町1丁目6-1-3
日時	第1 ～ 3金曜日、第4土曜日
料金	高校生以下無料、大人500円
代表者	峰田知恵子
電話番号	090-1345-4053

21 子ども食堂　土曜給食

場所	延岡市天神小路312-4 レスパイトサービスあるたす
日時	第1土曜日
料金	高校生以下無料、大人100円
団体名	子どもネットワークのべおか
電話番号	070-7586-5163

22 ととろ食堂

場所	延岡市南一ヶ岡2丁目17-1 一ヶ岡コミュニティセンター
日時	第2・4土曜日
料金	高校生以下無料、大人300円
団体名	延岡地区更生保護女性会
電話番号	090-9477-8835

23 子ども食堂　恒富

場所	恒富公民館
日時	第3土曜日
料金	無料
代表者	矢野 光代
電話番号	090-7387-1369

24 ふれあい食堂にこにこキッチン

場所	グループホームみのり園のた（不定）
日時	第3土曜日（不定）
料金	こども無料、大人（寄付）
代表者	児玉　美鈴
電話番号	080-5277-6034

日南市

25 日南こども食堂

場所	日南市木山2-4-1 旧日南カトリック幼稚園 日南市中央通1-8-8 九州電力日南営業所
日時	旧日南カトリック幼稚園：第2土曜日 九州電力日南営業所：第4土曜日
料金	無料
団体名	日南こども食堂 つわぶきの会
電話番号	080-6402-0849

小林市

26 子育て広場

場所	小林市細野367-1 小林市社会福祉協議会
日時	第2土曜日
料金	こども無料、大人300円（寄附）
団体名	社会福祉法人 小林市社会福祉協議会
電話番号	0984-23-3466

27 ふれあい食堂

場所	小林市細野274-1 夢 小林市細野4842-14 夷守営農研修館
日時	夢：第4土曜日 夷守営農研修館：偶数月第2土曜日
料金	夢：こども無料、大人300円 夷守営農研修館：こども・大人無料
団体名	社会福祉法人 燦燦会
電話番号	0984-23-4478

28 ふれあい交流食堂元気 De 荘

場所	小林市野尻町三ケ野山4336-74 高齢者ケアセンター きりしまの園
日時	第4土曜日
料金	こども無料、大人300円（75歳以上200円）
団体名	高齢者ケアセンター きりしまの園
電話番号	0984-44-3108

29 みまつ食堂

場所	小林市堤3358-3 小林市農村環境改善センター
日時	5月、7月、8月、10月、12月の第3日曜日
料金	こども無料、大人300円（寄附）
団体名	チーム三松協働体
電話番号	0984-27-3739

30 にっこばふれあい食堂

場所	小林市南西方5942-33 西小林公民館
日時	偶数月第4土曜日
料金	こども無料、大人300円（寄附）
団体名	にっこばまちづくり協議会
電話番号	0984-27-0027

日向市

31 子ども食堂 ひゅうが絆

場所	日向市亀崎東4丁目10 大王谷コミュニティセンター
日時	第2土曜日
料金	無料
団体名	子ども食堂 ひゅうが絆
電話番号	0982-54-5846

32 福祉食堂 子どもカフェ

場所	日向市大字富高6800-35 kakure cafe NICO
日時	第3土曜日
料金	無料
団体名	フードバンク日向
電話番号	0982-54-8466

西都市

33 みんなでパクパクこども食堂

場所	西都市下妻4 西都市児童館
日時	第3土曜日
料金	こども50円、大人（保護者）200円
団体名	特定非営利活動法人 さいと旗たて会
電話番号	0983-43-6117

えびの市

34 カレーの日

場所	飯野コミュニティセンター、総合福祉センター、上江小中学校
日時	毎月1回土曜日　3会場を巡回して開催
料金	こども無料
団体名	えびの市社会福祉協議会
電話番号	0984-35-2800

35 寺子屋ランチ

場所	真幸コミュニティセンター
日時	毎月1回第3土曜日
料金	こども無料
団体名	真幸まちづくり協議会
電話番号	0984-37-3221

三股町

36 りんりん食堂

場所	三股町樺山2767 光明寺
日時	第1、3土曜日　11：40～　受付
料金	中学生以下無料、高校生100円、大人300円
団体名	すずむしの会
電話番号	090-6422-1101

37 森の子食堂

場所	三股町大字樺山3000-2 ビオトープガーデンカフェ
日時	毎週火曜日 19：00 ～　※学習とセット
料金	無料
団体名	すずむしの会
電話番号	080-4346-6041

国富町

38 るんるん食堂

場所	公民館等
日時	不定期
料金	無料
団体名	東諸地域福祉コーディネーター連絡会
電話番号	0985-75-6267

新富町

39 一緒に勉強＆一緒にご飯

場所	新富町大字三納代2279 みんなの居場所「こぶたのおうち」
日時	金曜日　16:30～18:30（予定）
料金	無料
代表者	小宮山真理子
電話番号	080-5282-2419

川南町

40 しおつけフレンドパーク

場所	川南町大字川南22843 金鈴学園
日時	毎月第3日曜日　10：00 ～ 13：00
料金	こども無料、大人280円
団体名	社会福祉法人 金鈴学園
電話番号	0983-27-0422

都農町

41 れんげ食堂

場所	都農町大字川北4910 都農町社会福祉協議会
日時	偶数月第1土曜日
料金	こども無料、大人無料
団体名	都農町れんげの会
電話番号	0983-25-0048

42 こどもカフェ

場所	都農町大字川北3741 みなと児童館
日時	毎月第3土曜日
料金	原則無料（募金箱設置）
団体名	みなと児童館、地域活動クラブめばえ
電話番号	0983-25-0568

門川町

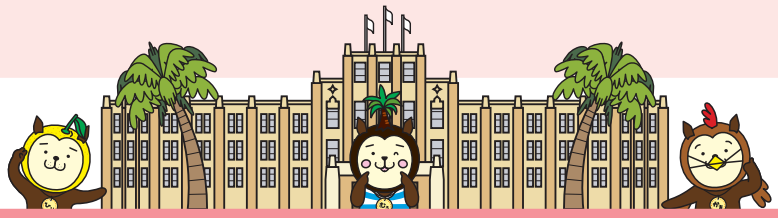
43 子ども食堂 草っこひろば

場所	門川町加草5-30 草っこひろば
日時	第3土曜日（変更あり）
料金	無料
代表者	矢野吉孝
電話番号	090-9402-9338



memo





宮崎県家庭教育支援条例

家庭教育はすべての教育の出発点。子どもたちは、家庭との温かい関わりや様々な体験を通して多くのことを学び、たくましく成長します。子どもを育てることは、未来の宮崎を支える人財を育てる重要な営みです。親も悩みながら成功や失敗を繰り返し成長していきます。地域住民や学校、企業、行政なども力を合わせ、社会全体で子育てや家庭教育を応援していくことが求められています。

保護者の役割

子どもに愛情をもって接し、基本的な生活習慣及び倫理観の確立、自立心の育成並びに心身の調和のとれた発達を図るとともに、自らが親として成長していくように努めます。

地域住民等の役割

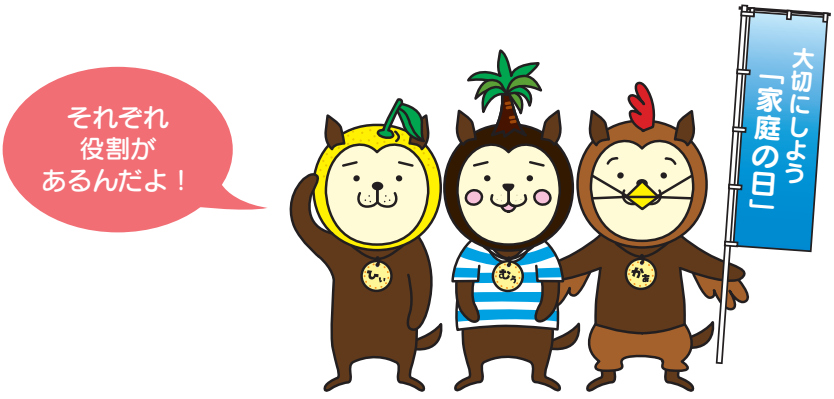
保護者と連携して、家庭教育を行うために良好な地域環境の整備に努めるとともに、地域の歴史、伝統、文化、行事等を通じ、子どもの健全な育成に努めます。

学校等の役割

保護者、地域住民及び地域活動団体と連携して、子どもの健全な成長のために必要な基本的生活習慣を身に付けさせるとともに、子どもの自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るように努めます。

事業者の役割

雇用する従業員の仕事及び家庭生活との両立が図られるよう、必要な終業環境及び雇用環境の整備に努めます。



県は地域ぐるみで家庭教育を支える環境づくりを推進していきます。

宮崎県教育庁生涯学習課　☎26-7245

宮崎県内の高校・大学等一覧

■県立学校

県立高等学校

宮崎大宮高等学校
宮崎東高等学校(定時制・通信制)
宮崎工業高等学校(全日制・定時制)
宮崎商業高等学校
宮崎農業高等学校
宮崎南高等学校
宮崎海洋高等学校
宮崎西高等学校
宮崎北高等学校
佐土原高等学校
本庄高等学校
日南高等学校
日南振徳高等学校
福島高等学校
都城泉ヶ丘高等学校(全日制・定時制)
都城農業高等学校
都城商業高等学校
都城工業高等学校
都城西高等学校
高城高等学校
小林高等学校
小林秀峰高等学校
飯野高等学校
妻高等学校・(新)妻高等学校
西都商業高等学校
高鍋高等学校
高鍋農業高等学校
都農高等学校
延岡高等学校
延岡青朋高等学校(定時制・通信制)
延岡工業高等学校
延岡商業高等学校
延岡星雲高等学校
富島高等学校(全日制・定時制)
日向工業高等学校
日向高等学校
門川高等学校
高千穂高等学校

中等教育学校

五ヶ瀬中等教育学校

県立特別支援学校

明星視覚支援学校
都城さくら聴覚支援学校
みやざき中央支援学校
赤江まつばら支援学校
みなみのかぜ支援学校
日南くろしお支援学校
都城きりしま支援学校
都城きりしま支援学校小林校
日向ひまわり支援学校
児湯るびなす支援学校
清武せいりゅう支援学校
延岡しろやま支援学校
延岡しろやま支援学校高千穂校

■私立高等学校

日南学園高等学校宮崎穎学館(宮崎市)
日章学園高等学校(宮崎市)
日向学院高等学校(宮崎市)
鵬翔高等学校(宮崎市)
宮崎日本大学高等学校(宮崎市)
宮崎第一高等学校(宮崎市)
宮崎学園高等学校(宮崎市)
日章学園九州国際高等学校(えびの市)
小林西高等学校(小林市)
日南学園高等学校(日南市)
延岡学園高等学校(延岡市)
聖心ウルスラ学園高等学校(延岡市)
都城聖ドミニコ学園高等学校(都城市)
都城高等学校(都城市)
都城東高等学校(三股町)

■国立高等専門学校機構

都城工業高等専門学校

■国立大学法人・公立

宮崎大学
宮崎公立大学
宮崎県立看護大学

■専修学校（公立）※私立の専修学校について　http://miyasenkaku.or.jp

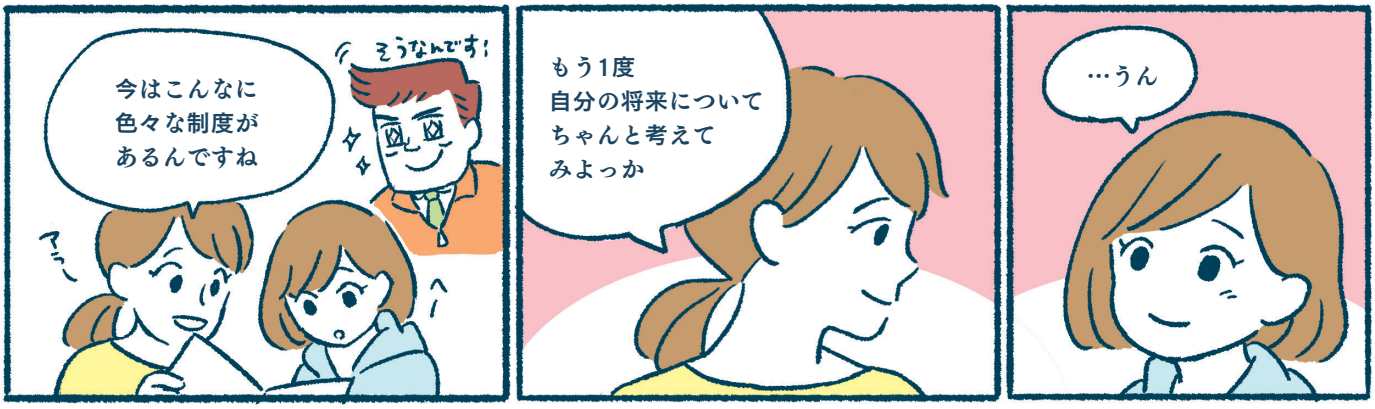
県立農業大学校

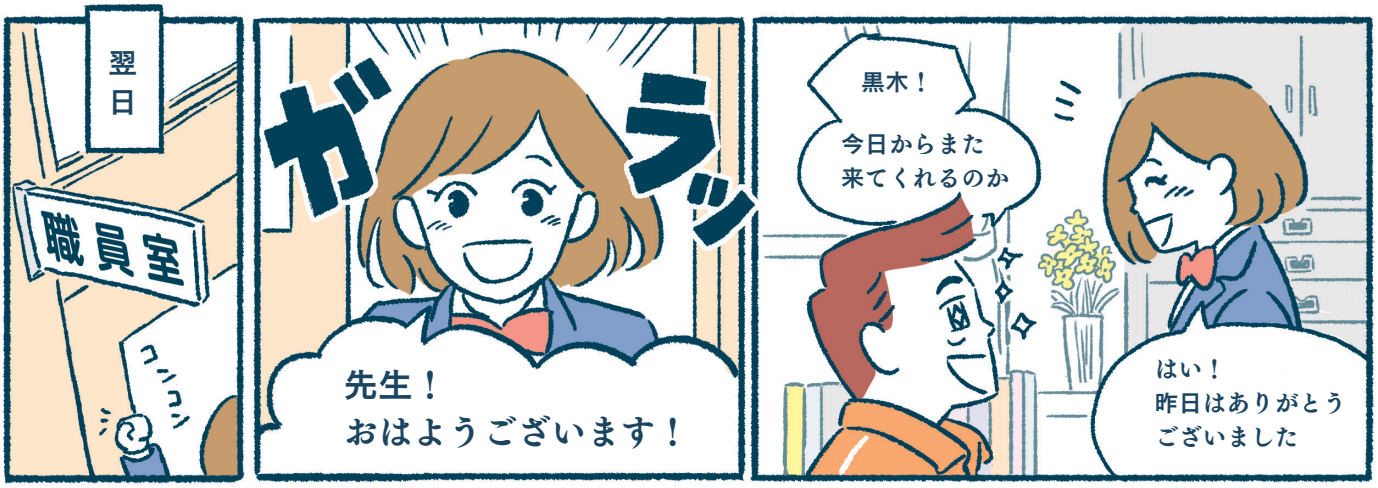
■私立大学・短期大学

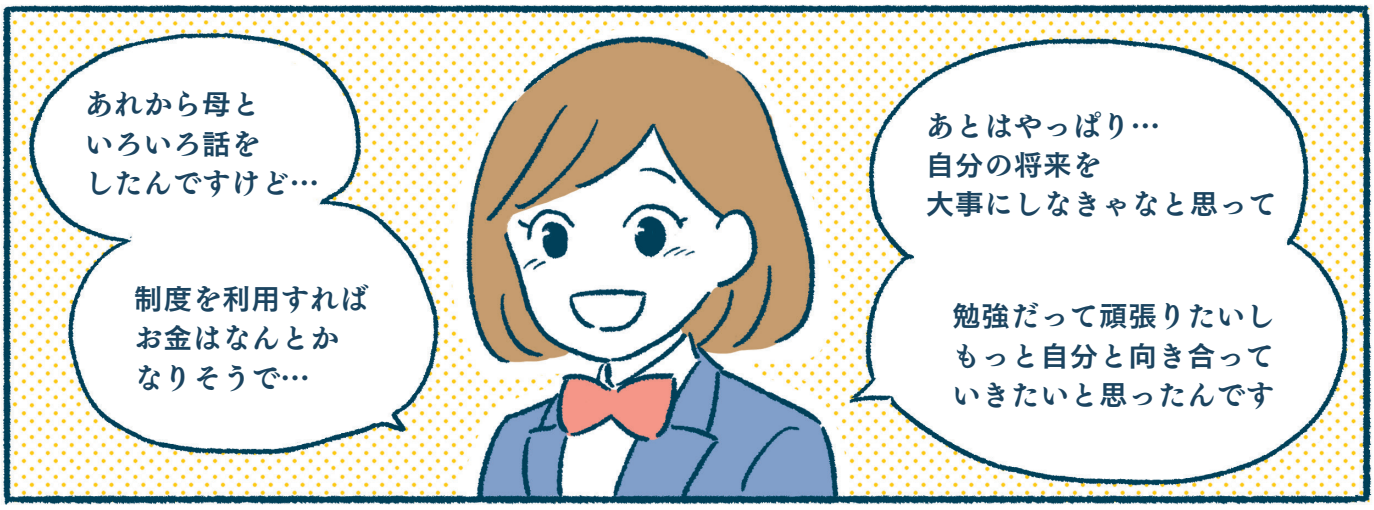
九州保健福祉大学
南九州大学
宮崎国際大学
宮崎産業経営大学
南九州短期大学
宮崎学園短期大学

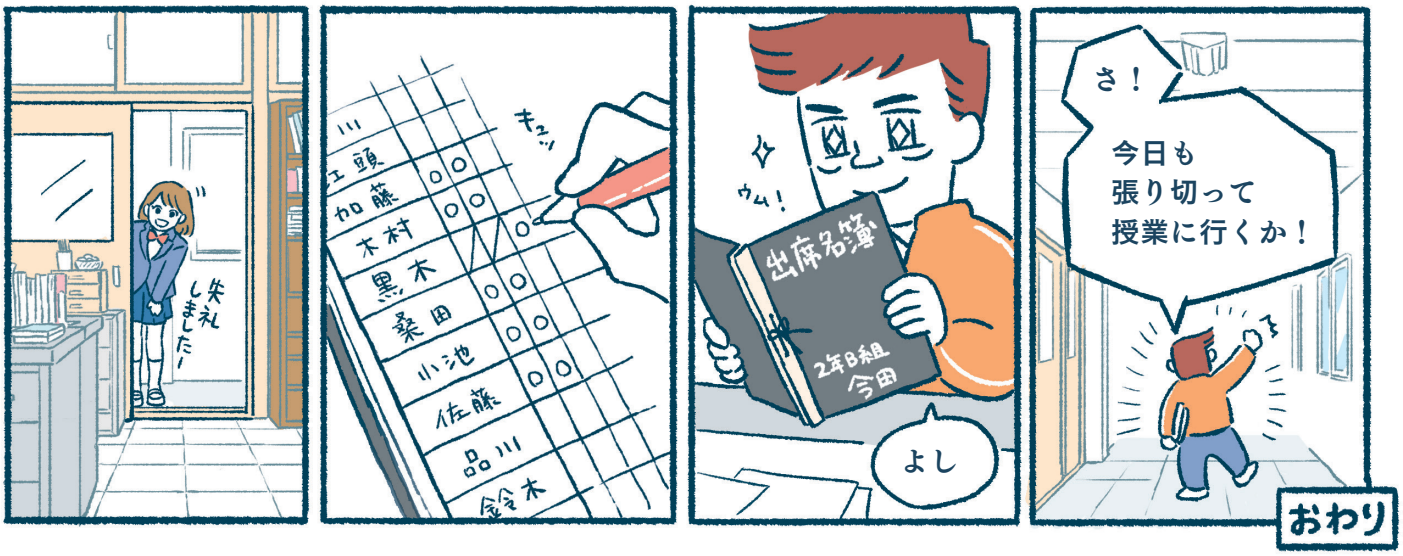
■その他

宮崎県立高等水産研修所
宮崎県立産業技術専門校(本校・高鍋校)


今はこんなに
色々な制度が
あるんですね
そうなんです！
もう1度
自分の将来について
ちゃんと考えて
みよっか
…うん


翌日
職員室
コンコン
ガラッ
先生！
おはようございます！
黒木！
今日からまた
来てくれるのか
はい！
昨日はありがとう
ございました


あれから母と
いろいろ話を
したんですけど…
制度を利用すれば
お金はなんとか
なりそうで…
あとはやっぱり…
自分の将来を
大事にしなきゃなと思って
勉強だって頑張りたいし
もっと自分と向き合って
いきたいと思ったんです


失礼しました！
キュッ
出席名簿
2年B組
今田
ウム！
よし
さ！
今日も
張り切って
授業に行くか！
おわり



宮崎県
福祉保健部 福祉保健課
〒880-8501 宮崎市橘通東 2 丁目 10-1
TEL0985-26-7075 / FAX0985-26-7326
fukushihoken@pref.miyazaki.lg.jp

桜さく成長応援ガイド
電子ブックはこちらから→